

〈論 説〉

エコノミクス  
第3巻第3・4号  
1999年3月

## アボリショニズム研究（序）

「アミスタッド号反乱」—インターネット情報を中心に—

徳島 達朗

### まえがき

アボリショニズムとは何か。先学の定義を紹介しておく。「奴隷制廃止運動 (Abolitionist Movement) はアメリカ史上、最重要ジャンルの一つであり、特に公民権運動後、どのような階層が、この運動の担い手となり、誰を指導者として運動を推進したのか注目されている。この運動のエネルギー源がアボリショニズムだが、この原義の Abolitionism には定訳はない。(中略) この思想は世界思想史上きわめて重要な位置を占めているにもかかわらず、定訳がないことに反映されるごとく、本来与えられるべき位置がまだ与えられていないのが現状である。」(福本保信『黒人奴隷制廃止思想の発生』西南学院大学学術研究所 研究叢書 No.30 1997年3月) 福本氏はアボリショニズムを「奴隷制廃止思想」と訳している。

現在筆者はイギリスの反奴隷貿易 (反奴隷制) 運動の研究に従事しており、最近 Zerbano Gifford, *Thomas Clarkson and the Campaign Against Slavery* を訳出した (ザバヌー・ギッフオード著、徳島達朗監訳『アボリショニズムの社会史—反奴隷制運動とクラークソン』梓出版社 1999年4月刊)

ところで「アミスタッド」号に注目したのは、週刊誌『アエラ』(朝日新聞社 1998年2月9日) の映画評を目にしたことに始まる。柳生すみまる氏執筆に

なるもので、見出しは、『『アミスタッド』あぶり出す歴史の暗部 米国と米国人が触れようとしなかった奴隷問題に、ヒットメーカーのスピルバーグが挑戦した。』というものであった。これは単なるフィクションではないと知って映画館に二度足を運んだ。その頃(1998年3月)、謝晋監督の「阿片戦争」を岩波ホールで観る機会があった。この二つの映画が筆者の脳裏で結合したのである。

その後、「アミスタッド」についてインターネットを利用し情報、資料の収集を継続中である。

このことは本学『サンダイ広報』(第129号、1998年7月8日)に簡単に紹介したが、スペースの関係で圧縮したため述べたいことの半分も表現できていない。以下原案を記載することを諒とされたい。

スピルバーグ監督「アミスタッド」をめぐって  
—歴史の面白さと恐ろしさ— (徳島達朗)

インターネット情報によると、いまアメリカは「アミスタッド」ブームである。映画「アミスタッド」に関する批評はもちろん、「アミスタッド」号を復元する運動、学校では「アミスタッド」を歴史の教材として採用しているところも続出している。もっともテューレーン大学のように以前からアミスタッド・リサーチ・センターを設けて資料を保管しているところもある。

「アミスタッド」事件とは何か。これは1839年に起こった事実である。アメリカ人なら誰でも知っている(前、現)大統領二人も登場するのであるが、この事件そのものはアメリカでもほとんど知られていない。アフリカ(シエラレオネ)から多数の自由なる住民が奴隷貿易商人の手先に拉致され、「黒い積荷」として「恐怖の中間航路」(大西洋)を運ばれ、キューバ(ハバナ)の奴隷市場でオークションにかけられたのである。スペイン商人に買い取られた53人は「アミスタッド号」(スペイン語で友愛という意味)に鎖につながれ、砂糖プランテーションの奴隷労働力としての運命が待ち受けていたのである。嵐にもまれた船内ではシンケ(指導者になる青年)が悪戦苦闘の末、鎖を引抜きアフリカ人全員の枷をはずした。彼らは商品として箱詰めされて

いた砂糖きび伐採用のナイフを手に反乱に立ち上がり、スペイン人商人（二人）を除いて船長以下を殺害したのである。彼らはアメリカ海軍に拿捕され、コネティカット州ニューヘヴンで「反乱、殺人、海賊」として、裁かれることになった。

当時アメリカでは1833年にアメリカ奴隷制反対協会が、フィラデルフィアに設立され、奴隷制をめぐる意見の対立も深まり、1861年には南北戦争が勃発することになるのである。裁判の争点は、彼らが何処から来たのか、西インド生まれの「奴隷の子」なのか、アフリカから来た「アフリカの自由人」なのかであった。アフリカ人とアメリカ人の間には「通じる言葉」がなかった。ニューヘヴンに入港していたイギリス海軍のアフリカ人士官が通訳の重要な任務を担ったのである。彼は奴隷からイギリス海軍に救出され志願してイギリスの軍艦に乗務していたわけである。歴史の事実を確認するが、イギリスは1807年に奴隷貿易を禁止、1833年に奴隷制度そのものを廃止していたのである。地裁判決では、シンケたちアフリカ人は無罪との判決を下した。

大統領ビュレン（在任1837—1841年）は、大統領再選のためには南部奴隷州の支持が必要であり、この裁判の引延ばしを画策し、最高裁判所に上告した。判事9人中7人が奴隷所有者という最高裁判所で決定的な役割を演じたのは元大統領ジョン・クインシー・アダムス（在任1825—1829年）であった。彼はアメリカ独立宣言の精神、建国の精神を説き、歴史的な無罪判決を勝ち取ったのである。映画のクライマックスでは、イギリス海軍がポルトガル奴隷貿易の拠点、城砦を砲撃し奴隷化されようとしていたアフリカ人を解放するシーンは感動的であった。

目を東に転じよう。それは「アヘン戦争」（1840—42年）のことであるが、その結果が香港の植民地化（1842—1997年）であったが、欽差大臣林則徐が没収アヘン全部を廃棄したのは、1839年であった。同じイギリス海軍の砲撃が戦局を左右したわけである。ところで、ジョン・クインシー・アダムスは、マサチューセッツ州の歴史学会で、「この戦争をアヘン戦争と呼ぶのは正しくない。真の原因は中国の優越感を放棄させ、国際平等交通権を主張することであった。」と演説している。

歴史の面白さと恐ろしさ感じている。以上

この事件を再現したスピルバーグの意気込みと良心に喝采をおくりたい。元大統領ジョン・クインシー・アダムスの果たした役割と映画でそれを演じたアンソニー・ホプキンスの演技に感動した。

なお、ジョン・クインシー・アダムスのマサチューセッツ州歴史学会での「アヘン戦争評価」は、矢野仁一『アヘン戦争と香港』（中公文庫）を参照した。同氏はその序文（昭和14年7月）において、さらに、「これはイギリスが自国において販売を厳禁するほどの道徳上衛生上の毒物を支那にその国法を無視して売りつけ支那人民の道徳衛生を敗壞して顧みないことを、アジア民族に関するものとして敢えて罪悪と考えない白色民族共通の心理を暴露するものである」と、論じている。それは強烈な問題意識といえよう。最近の歴史理論によれば「近代世界システム」の周辺にアジアが組み込まれる過程と表現することになるろう。

## 01 「アミスタッド号反乱」事件に関するインターネット情報について

「アミスタッド」に関する情報は、[http://www.amistad.org/AMISTAD LINKS](http://www.amistad.org/AMISTAD_LINKS) が有用である。（資料1）

この「アミスタッド・リンクス」のなかの Exploring Amistad はコネティカット州南東部ニューロンドンの東10マイルにあるミスティック・シーポート・ミュージアム Mystic Seaport Museum の提供によるものである (<http://www.mysticseaport.org/>)。

このミュージアムは海洋に関する教育学習に利用されている。「アミスタッド号事件」については、「アミスタッド」号の復元運動を進めている他、同事件に関する学習教育資料を普及している。筆者の入手したものを紹介しておく。「アミスタッド」号復元運動用のポスター、原画は水彩画で描いたもので、Amistad America, Building the Freedom Schooner at Mystic Seaport と、その運動の精神を示している。ビデオテープ The Amistad Revolt” All We Want Is Make Us Free” Produced & Directed by Karyl K. Evans, Commissioned by The Amistad Committee, Inc. 1995. このビデオは青少

## 資料 1

## AMISTAD

## LINKS



AMISTAD Links is a comprehensive listing of links to pages about the history of the AMISTAD, the AMISTAD incident, and its legacy. To add your site, please use the link at the bottom of the page.

**Amistad America: Building the Freedom Schooner**

AMISTAD America Inc. is a not-for-profit educational organization formed to promote the project to build the AMISTAD replica. Amistad America in partnership with United Church of Christ and Myrtle Seaport will begin construction on Amistad Sunday, March 8, 1998. Check out the [press release](#) for more information about the keel-laying ceremony.

**Exploring Amistad:**

Visit this web site to find the real history of the Amistad. Extensive collections of historical resources relating to the revolt and subsequent trial of enslaved Africans aboard the schooner AMISTAD.

**United Church of Christ**

United Church of Christ has just announced its partnership with Amistad America, building the freedom schooner. Visit their new resource on the Amistad, designed to help you and your congregation interpret the Steven Spielberg movie "Amistad".

**The Amistad Research Center**

An independent archive, library, & museum dedicated to preserving African-American & ethnic history and culture located at Tulane University.

**Amistad: A True Story of Freedom**

**The Connecticut Historical Society**

Amistad: A True Story of Freedom, the multimedia exhibition that takes you back in time, is now on display at The Connecticut Historical Society. The on-going exhibition explores the Africans, revolt on the ship Amistad in 1839, their arrival in New London, the legal trials to determine their freedom, their life in Connecticut, and the local citizens who helped them. Visitors of all ages will enjoy this interactive and multimedia exhibition. Five galleries feature recreated settings, special sound and light effects, and historic artifacts.

**"Who Owns the History?" at Cornell Law School**

This site explores the historical and legal issues and characters involved in the two legal disputes arising out of the Amistad revolt—the first in 1839 and the second in 1997.

**1841 Amistad US Supreme Court decision**

Full Text of the 1841 US Supreme Court Decision regarding the uprising by Africans aboard the schooner AMISTAD: THE AMISTAD, 40 U.S. 518 (1841).

**The Amistad Learning Site and Documents**

from the National Archives and Records Administration

**The Amistad Trail**

A list of sites throughout the state of Connecticut that are important to the AMISTAD story. Part of the Connecticut Freedom Trail.

**The Hartford Courant's Amistad pages**

A nice overview of the Amistad story with links to articles about the film and brief historical notes.

**The Gilder Lehrman Collection and the Gilder Lehrman Institute of American History**

The Gilder Lehrman Collection, on deposit at the Pierpont Morgan Library, has important Amistad holdings including contemporary documents, books, pamphlets and broadsides on the case and its aftermath. Several documents will be on view beginning in February 1998.

On April 24, 1998 the symposium entitled, "Amistad: Slavery, Justice and Memory" was hosted by the Gilder Lehrman Institute of American History and the Association of the Bar of the City of New York. The symposium was filmed by the Arts and Entertainment Channel and will be available in the coming months for those who were unable to attend.

**Amistad Project Transcription**

Students at Gettysburg University have transcribed documents, pertaining to the Amistad case which are part of the Gilder Lehrman Collection.

**AMISTAD at the Lyric Opera of Chicago**

by Anthony Davis. Libretto by Thulani Davis  
"Opera! Symphony! Jazz! Anthony Davis does them all to rave reviews! Experience the artistry of the composer who brought Malcolm X and Patty Hearst so vividly to the opera stage."

**The Spirit of Amistad in The United Methodist Church**

Presented by the General Board of Global Ministries, The United Methodist Church

**United Church on the Green**

"United Church is a Community of Faith Gathering in the Heart of New Haven, Connecticut Open to All Seekers". Check out their page on New Haven Congregationalists, Abolition, and The Amistad Event.

**AMISTAD the film**

The official Steven Spielberg film web site

To keep updated about AMISTAD related projects,  
**add your name to the AMISTAD mailing list.**

If you would like to add a link to this page, please e-mail the title, URL, and a descriptive paragraph to the **AMISTAD Links Webmaster**

This site is maintained by **Myrtle Seaport** and **Amistad America, Inc.**

年向けのもので、33分にまとめられているが、教師用の冊子 *Free Men: The Amistad Revolt And The American Anti-Slavery Movement, A Teacher's Guide* Written by Priscilla Searles もついていて有用である。ビデオの底本となっている書物、Karen Zeinert, *The Amistad Slave Revolt and American Abolition*, Linnet Books, 1997. (同書の邦訳が出版されている。黒木三世訳『アミスタッド号の反乱』瑞雲舎 1998年3月)

まず、Exploring Amistad のタイムラインにより事件の流れを把握しておこう。

## 02 アミスタッド号反乱・タイムライン (exploring Amistad)

<http://amistad.mysticseaport.org./timeline>

1839年

1月：ゼングベ・ピー (シンケ), メンデ人, 西アフリカ内部で捕らえられ奴隷として売却される。

4月上旬：スペインの奴隷船テコラ号奴隷を積んで、西アフリカ, イギリス植民地シエラレオネ下方の海岸, ガリナス川河口のロンボコを出港。

(二ヶ月間, 中間航路)

6月下旬：アフリカ人たち, ハバナの収容所に連行さる。プエルト・プリンシペから来たスペイン人プランター, ジョゼ・ルイズ一人につき450ドル支払い, 49人の男子成人を買う。同地方からのプランター, ペドロ・モンテス, 4人の子供 (内3人は女の子) を買う。

6月22日：ペドロ・モンテス, パスポートと「ラディーノ」(スペイン語を話す黒人) のプエルト・プリンシペへの移送許可を得る。

6月26日：ルイズ, パスポートと「ラディーノ」のプエルト・プリンシペへの移送許可を得る。

6月28日：午後8時, ルイズとモンテスは53人をアミスタッド号へ乗船させる。真夜中近く, 錨を解き出航。

7月1日：三日目の夜。シンケとグラボウ鎖を外し武器を手にした。他の人々も同様。

7月4日：午前4時，反乱。

(その後，二ヶ月，アミスタッド号は昼は東へ，夜は北へと運行し，バハマを通り，北アメリカを北上，合衆国海域に入る。)

8月下旬：ニューヨーク付近で，「黒い帆船」は，水先案内船など数隻と遭遇し，海賊船が上陸するという噂が広まる。

(新聞報道：「ヘラルド」8月24日，8月26日，8月27日，リッチモンド「エンクアイアー」8月30日付)

8月25日：アミスタッド号ロングアイランド沖に投錨，食料調達のため上陸。夕方，ヘンリー・グリーンたち，アフリカ人上陸組と遭遇。

8月26日：早朝，リチャード・W. ミード大尉，合衆国軍艦ワシントン指揮し，現場に来航，その帆船を拿捕し，ニューロンドンに曳航。

(新聞報道：「ヘラルド」8月28日，「ジャーナル・オブ・コマース」8月28日，チャールストン「クーリヤー」9月2日付)

8月27日：アミスタッド号ニューロンドン到着。執行官ノリス・ウイルコックス，地方裁判所アンドリュー・T. ジャドソンに通告。

ワシントン号上での事情聴取で，ルイズとモンテスは39名のアフリカ人男性と4人の子供，クレオーレのコック，アントニオの所有権を主張。

アンドリュー・T. ジャドソン判事はワシントン号での事情聴取を行い，9月にハートフォードの巡回裁判にまわすことを決定。アフリカ人たちはニューヘイブンの監獄に収監。

9月2日：「黒いスクーター」がニューヨーク市のパウリー劇場で上演。

9月4日：ニューヨークのアボリショニスト(反奴隷制論者)，弁護と獄中のアフリカ人支援の費用を集めるために「アミスタッド委員会」結成を公表。ルイス・タッパン，ジョシュア・リーヴィット師，シメオン・ジョスリン師が指導。

(新聞：コマーシャル・アドヴァタイザー 9月5日付)

9月6日：ワシントン駐在スペイン大使，アフリカ人を反乱と殺人罪で裁判に付すためキューバにもどすよう正式に要求。

9月9日：イエール大学教授，ジョサイア・ギブス，ニューヨークのドックでメンデ語を話す—ジェームス・コーヴェイとチャールズ・プラット—をみつけ，彼らをアフリカ人たちに会わせるためにニューヘイブンへ連れてきた。ニューヨークのアボリショニスト，ルイス・タッパン，ジョシュア・リーヴィット，シメオン・ジョスリンをアミスタッド委員会委員に任命し，アミスタッド号の逮捕者救援の基金を確立。

9月19日：ハートフォードにおける合衆国巡回裁判，第1回の審理開始。トンプソン判事が担当。

(新聞報道：ニューヨーク，「ヘラルド」9月20日，リッチモンド，「エンクアイヤー」9月24日付)

9月23日：トンプソン判事はアフリカ人たちの奴隷化の合法性に関しては疑義の念を表明したが，人身保護条令の適用は否定し，ニューヘイブンの監獄での収監を継続。

(新聞報道：ニューヨーク「ヘラルド」9月25日，「カラード・アメリカン」

9月28日，リッチモンド，「エンクアイヤー」9月27日，10月1日付)

10月17日：タッパン，数名のアフリカ人にルイズおよびモンテスの暴行殴打，不法監禁を告訴させた。スペイン人，ニューヨーク市で逮捕。

(新聞報道：ニューヨーク「ヘラルド」10月18日，リッチモンド「エンクアイヤー」10月25日，チャールストン「クーリヤー」10月23日付)

10月22日：ニューヨーク下級裁判所聴聞開始。イングリッド判事担当。

1週間で，法廷はモンテスを釈放，ルイズの保釈金を減額。モンテスは釈放されキューバへ。ルイズも保釈金を支払自由。

(新聞報道：ニューヨーク「ヘラルド」10月24日，リッチモンド「エンクアイヤー」11月1日付)

11月19日：ハートフォードでの連邦地方裁判第2回審問開始。ジャドソン判事担当。

アボリショニスト，「海難救助」の根拠なしとして，本件をニューヨークへまわすよう試みる。アフリカ人たちは合法的に奴隷化されたのではないと，証



拠提出。法廷1月まで聴聞延期，法廷をニューヘイブンに移す。

(新聞報道：ニューヨーク「ヘラルド」11月21日，11月22日，リッチモンド「エ  
ンクアイヤー」11月26日，チャールストン「クーリヤー」11月26日付)

11月25日：マデンの検証結果の公表により，アフリカ人はラディオではなく  
ボザーレ（アフリカからきたばかりのスペイン語を話さないアフリカ人＝徳  
島）であると判明。

1840年

1月2日：合衆国国務長官ジョン・フォーシス，海軍に地裁決定が出たらた  
だちに，控訴される前に，アフリカ人たちをキューバへ輸送する準備を整え  
るよう命令。海軍，そのためにニューヘイブンにグランパスを派遣待機。

1月7日：地裁，ニューヘイブンで再開。合衆国コネティカット州，事務弁  
護士，ウィリアム・S. ホラバードはスペイン政府はルイズおよびモンテス  
の要求と，黒人たちはアフリカ人，メンデ人でありボザーレであるという合衆  
国のさまざまな証言を並認したと言明。

1月8日：シンケ証言，逮捕，奴隷化，中間航路，ハバナでの奴隷売買，反  
乱，グリーンとの出会い…

グラボーとフリワも証言。

(新聞報道：ニューヨーク「ジャーナル・オブ・コマーズ」1月10日付)

1月13日：ジャドソン判事，地方裁判所の管轄権を確認，グリーンの手難救  
助請求を却下。法廷，ゲドニーと二人のスペイン人に海難救助物を与える。  
同時に法廷は，アフリカ人は合法的に奴隷化されたものではないと裁定した。  
殺人と海賊行為については，スペインの法廷のみが裁けるが，スペインの法  
律ではアフリカ人がボザーレである場合にのみ効力があるのであり，彼らは  
ちがうので，キューバへ返す論拠はない。

法廷は収監者を合衆国大統領の保護下におき，アフリカへ帰すのが妥当とみ  
なす。

(新聞報道：ニューヨーク「ジャーナル・オブ・コマーズ」1月13日，1月15  
日，チャールストン「クーリヤー」1月16日，1月22日付)

合衆国グランパス号ニューヘイブン出港。

大統領ヴァン・ビューレン，合衆国地方事務弁護士に地方裁判所の決定に対し，4月の合衆国巡回裁判所に控訴するよう命じた。スペイン人たちも控訴。

4月14日：ジョン・カルフーンの動議により，上院は平時，公海上の合法航海については裁判権はその船舶の属する国にあるという決定を行う。

4月29日：ニューヘイブンにおける第2回目の巡回裁判所開廷。判事トンプソン担当。

トンプソン判事は地方裁判所の決定を確認し，最高裁判所へまわした。

6月16日：アミスタッド号，アフリカ人たちの蠟人形，ニューヨーク市のピール博物館で展示。

(新聞広告：ニューヨーク「コマーシャル・アドヴァータイザー」6月16日，6月23日付)

(新聞報道：「カラード・アメリカン」6月27日付)

12月10日：合衆国議会で，ジョン・クインシー・アダムズ，ヴァン・ビューレン政府の本件に関する証拠偽造を告発。調査のため委員会任命。

(アダムズの日記：12月10日)

## 1841年

1月4日：議会，アダムズ委員会報告を採用。しかし，政府を非難せず。

2月22日：合衆国最高裁判所，アミスタッド号事件の審理開始。

2月23日：最高裁判所審理継続。ボールドウィン弁護士弁論終了。

(アダムズの日記，2月23日)

2月24日：アダムズ弁論開始。

(新聞報道：ニューヨーク「ジャーナル・オブ・コマーンス」2月24日付)

(アダムズの日記，2月24日)

3月1日：アダムズ弁論継続。

(新聞報道：ニューヨーク「ジャーナル・オブ・コマーンス」3月3日付)

(アダムズの日記，3月1日)

3月2日：ヘンリー・D. ギルピン司法長官，合衆国の立場を主張。

3月9日：ストーリー判事，裁判所の判決発表。アフリカ人の自由確定。  
(アダムズの日記，3月9日)

3月下旬：コックのアントニオ，行方不明。1ヶ月後，モンリオールに出現。

(新聞報道：ニューヨーク「ジャーナル・オブ・コマーズ」3月31日付)

アフリカ人たち，ウエストヴィルからファーマントンへ移動。

3月19日：裁判所，アフリカ人の少女たちをペンドルトンのところから，他のアフリカ人のもとへ移す。

5月12日：アフリカ人たち，ニューヨーク市のブロードウェイ，タバーナクルで彼らの学習ぶりを紹介したり，彼らの奴隷化と反乱の話をするために，数千人の観客の前に姿を現した一掃りの航海の費用を生み出すためでもあった。

(新聞報道：ニューヨーク「ヘラルド」5月15日，「カラード・アメリカ」5月22日付)

8月：フーン水死。自殺の模様。

8月18日：コネティカット州ハートフォード，アフリカ系アメリカ人アボリショニスト，ジェームス・W. C. ペニングトンが務める会衆派教会において大会が開かれ，アフリカへの福音伝道の促進と後援のために，ユニオン・ミッシヨナリ・ソサイティを結成。「メンディ人への伝道」が会派の最初の課題となるので，アミスタッド号アフリカ人数名も大会に出席。ペニングトンを会長に選出。

(新聞報道：「カラード・アメリカ」9月4日付)

11月27日：35人の生存者，ジェントルマン号に乗船し，ニューヨークを出港アフリカへ向かう。二人の黒人のアメリカ人，ヘンリー・ウイルソン夫妻，三人の白人，ウイリアム・レイモンド師とその妻およびジェームズ・スティーアール師が「メンディ伝道」として随伴した。

(新聞報道：「ジャーナル・オブ・コマーズ」11月27日付)

1842年

1月：アフリカ人たちシエラレオネに到着。  
(新聞報道：「アフリカン・レポジトリ」5月)

1844年

当初失敗もあったが、レイモンド師、シャープロ地区のコメンデに伝道本部建設。この時点までにアミスタッド号生存者各地へ散る。

1846年

アミスタッド委員会、アメリカン・ミッショナリー・アソシエーションに改組、メンディ伝道のための財政責任を確立。

アミスタッド号の少女、マーグル、オーバーリン大学で勉強（1848—49年）のため合衆国へもどる。彼女は伝道者サラ・マーグル・キンソンとしてシエラレオネにもどる。

以上

アミスタッド号事件と裁判の帰結については上記「タイムライン」のとおりであるが、いち早くアフリカ人たちの救済活動を開始したアボリショニストの動きに注目したい。

アミスタッド号は1839年8月27日にニューロンドンに到着し、事情聴取が開始されたが、9月4日にはニューヨークのアボリショニストは、「アミスタッド委員会」を結成し救援活動を開始している。9月9日にイエール大学ギブズ教授はニューヨークのドックで、イギリス海軍奴隷船監視パトロール艦に乗務していたアフリカ人（メンデ人）、ジェームス・コーヴェイをみつけ「アミスタッド・アフリカ」人との通訳を依頼し、ニューヘイブンに連れてきた。この「アミスタッド委員会」の中心は、ルイス・タッパン（ニューヨークの豊かな絹商人）、宗教者ジョシュア・リーヴィット師、シメオン・ジョスリン師であった。

「ニューヨークの富裕な生糸・絹輸入業者アーサー＝タッパン、その弟のルーイス＝タッパンは、母親の強い感化の下で、禁酒運動、日曜学校運動に参加し

た。彼らの運動は初期段階では貧困者救済運動の色彩が濃厚であった。」「1828年、アーサー＝タパンはニュー・ヘヴンで黒人への家庭伝道宣教師サイモン＝ジョセリンと会見し、彼の黒人間伝道思想にいたく共鳴し、ジョセリンの黒人教会に出席した。そしてニュー・ヘヴンで黒人大学設立を計画した。」「タパンの例で見られるように、その数は僅かではあるがニューヨークの商人たちがギャリソン以前に奴隷制廃止運動に参加している。」(福本保信前掲書65ページ)

### 03 アミスタッド・ライブラリー新聞

(exploring Amistad) <http://amistad.mysticseaport.org/library/news/newspapers.html>

アミスタッド・ライブラリーでは当該問題に関して、当時ニューヨークで発行された性質の異なる二種の新聞にアプローチできる。それは *Journal of Commerce* と *New York Herald* である。

#### 001 *Journal of Commerce*

ニューヨークの商人で改革論者のアーサー・タッパン Arthur Tappan により、1827年に創刊された新聞で、紙面は大西洋を航海し入港してきた汽船に、スクーターで特派員を派遣し取材したヨーロッパの最新商業情報と改革主義者の動きで構成される。同紙は劇場や宝くじの宣伝広告は拒否している。一年内外で、タッパンは同紙をジェラルド・ハロック Gerard Hallock とデヴィッド・ヘイル David Hale に売却した。タッパン同様、ハロックとヘイルの紙面は商業、金融情報を中心とすることを維持した。

ハロックは実際は民主党派で奴隷制支持者で、ラディカルな奴隷制度廃止には反対であった。しかし同紙は改革的トーンは維持した。そして、ハロックは個人的(密か)に植民計画を支持し、奴隷を100人買取り、解放しリベリアへ送った。このように、同紙はアミスタッド事件では、明確にアフリカ人に同情的で、その自由獲得のために努力した。

#### 002 *The New York Herald*

ヘラルド紙は1835年にスコットランド移民のジェームズ・ゴードン・ベネットにより創刊された。同紙は「1銭新聞」"penny papers"として有名で、1800年代中頃に大衆の人気を得た。1860年までに、同紙の発行部数は77,000部に達した。

同紙は政治的には特定政党に組するものではなかったが、1840年には、ホイッグ Whig への傾斜を強め、数年後、南北戦争においては、民主党側で南部に同情的であった。しかしながら、当時の基準によれば、ヘラルド紙は特に党派的であったとはいえない。

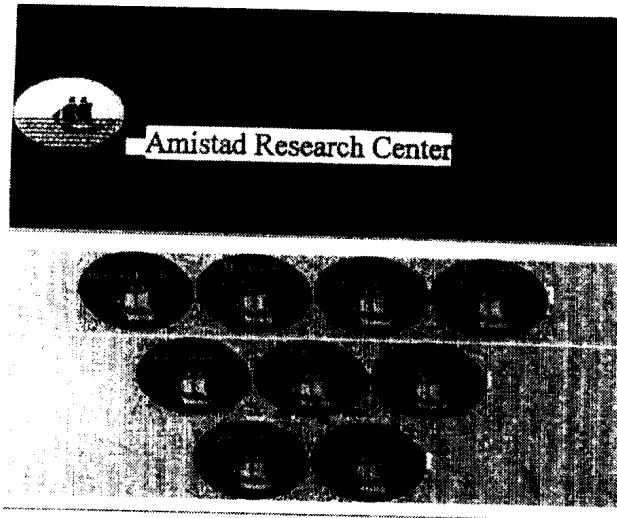
けれども、ヘラルド紙は改革運動、特に奴隷制反対運動 abolitionism に対しては、非常に批判的であった。アボリショニストの機関紙を「ニガーの新聞」"nigger papers"と呼んで攻撃した。アミスタッド号事件では、ルイス・タッパンやアフリカ人同情者をくりかえし攻撃した。同紙はアミスタッド号反乱の「野蛮」さを強調した。

#### 04 アミスタッド・リサーチセンター The Amistad Research Center について

アミスタッド・リンクスを利用して同センターを紹介する。  
The Amistad Research Center ( <http://www.arc.tulane.edu/> ) (資料2)

アミスタッド・リサーチセンターは、ニュー・オーリンズのテューレン大学の中にある研究機関である。同センターはアフリカ系—アメリカ人、少数民族の歴史および文化に関する独立した文書館、図書館、博物館である。1839年に発生したアミスタッド号のアフリカ人の反乱に因んだ名称で、1966年にフィスク大学人種関係学部 Race Relations Department of Fisk University およびアメリカ伝道協会 American Missionary Association により設立された。同センターは公民権運動の記録を保存する最初の研究機関として出発している。10,000,000点を超える記録資料を有し、アフリカン—アメリカン文書を所蔵する合衆国最大の独立した研究機関である。また同センターはアフリカに関するコレクションのほかマイノリティ、同性愛者の権利運動の資料を有している。口述歴史資料、ビデオライブラリ、旅行記録、出版物、

資料 2



**Welcome to the Amistad Research Center**

An independent manuscripts library dedicated to preserving African American and ethnic history and culture.

From around the world they come to New Orleans. Academic scholars, journalists, script writers, novelists, and history buffs are attracted by the diverse and invaluable resources of the Amistad Research Center on the Tulane University campus. The Center is a manuscripts library for the study of ethnic history and culture and race relations in the United States. While the focus is national, the holdings are international in scope. Researchers who use these resources find information about social, economic, and political history that leads to new interpretations of history.

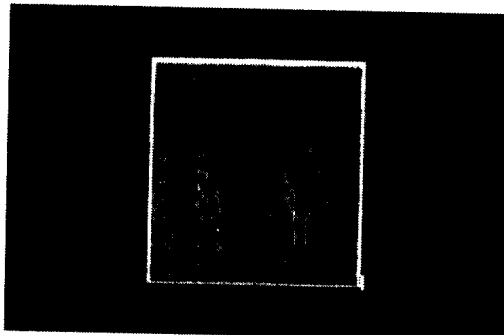


Amistad is among the largest of the nation's repositories specializing in the history of African Americans. Papers of African Americans and records of organizations and institutions of the African American community make up about 90 percent of the Center's holdings. The other 10 percent, significant in number and content, contains documentation on Native Americans, Puerto Ricans, Chicanos, Asian Americans, European immigrants, and Appalachian whites.

The Center also has a special relationship to the United Church of Christ, not only because it was founded by the American Missionary Association and continues to receive support from the United Church Board for Homeland Ministries, but also because it serves as the repository for many of that denomination's records. Holdings related to the United Church of Christ, dating from the early 19th century, are massive and provide comprehensive documentation of the denomination's ethnic history and its educational and other programs with minority groups.

The Center also holds records related to other Protestant denominations, Roman Catholicism, and Judaism, as well as many more collections that are entirely secular in origin.

Tilton Hall -- Tulane University  
6823 St. Charles Avenue  
New Orleans, LA 70118



*Funeral Procession* (1940) by Ellis Wilson became the Amistad's most popular original work of art after being featured on an episode of *The Cosby Show*.

アフリカ美術, アフリカン-アメリカンの美術も所蔵している。現在は, テューレン大学キャンパス内にあり便利で, 研究者, 一般の者に自由に開かれている。

001: 同センターの主な所蔵資料紹介

a: American Missionary Association (A.M.A.). Archives, 1828-1891. 84. 4 linear feet.

American Missionary Association, The United Church Board For Homeland Ministries. Archives [New] Addendum, 1869-1980. 176.0 linear feet.

この資料はアメリカ伝道協会の記録で, アミスタッド号事件を含む。同号のアフリカ人救出のため, 会衆派キリスト教徒でアボリショニスト, ニューヨークの富裕な商人であるルイス・タッパンの主導権のもとに Amistad Committee (アミスタッド委員会) が結成された。同事件は合衆国最高裁判所に上告されたが, アフリカ人たちは奴隷ではなく自由人であることが判明した。同委員会は, このアフリカ人たちを数人の宣教師とともに, 彼らの故国であるシエラ・レオネに送還する目的で継続存在した。

1846年, 同委員会は他のグループと合同し, アメリカ伝道委員会 (American Missionary Association) を結成。アフリカ伝道に加えて, A.M.A. はジャマイカ, ハワイ, シャム, エジプト, アメリカ中西部の原住民, 西海岸のアジア人への伝道をおこなった。

南北戦争勃発後は, A.M.A. はその方針を解放奴隷の教育と宗教奉仕にきりかえ, 1861年の夏, ヴァージニアのフォートレス・モンロー (Fortress Monroe) に最初の伝道所を設立した。多数の学校と教会が解放奴隷のために建設された。その後, A.M.A. は国内布教教会連合 (United Church Board for Homeland Ministries) に吸収された。U.C.B.H.M. がアミスタッド・リサーチセンターの運営資金を提供している。

同センターは約35万の手稿記録を所蔵している。大部分の記録は, 1839-1882年の期間に書かれたものであるが, その前後の時期のものもかなりある。委員会の財政関係資料, 会計簿, 年次報告書, 委員会会議録が中心で, その



他説話，統計報告，絵画，エッセイも所蔵する。手紙類も多数あり，三種に大別される。第1は，国内外の宣教師，教師の報告書が10万点，第2に，A. M.A.の財政面および精神面の後援者からの書簡が大量に所蔵されている。第3の大きなものは，伝道委員会の委員間の書簡類である。

これらはマイクロ化されていて，入手可能とのことである。カタログは Greenwood Publishing Corporation が，1970年に発行している。この資料コレクションは福音主義派の反奴隷制運動，会衆派，フロンティア教会，海外伝道，アフリカン・アメリカン，少数民族教育に関する研究の最良の資料といえるものである。

その他，以下の資料を所蔵している。

b : American Missionary [Magazine].Records, ca. 1992-1934. 6. 8 linear feet.

c : American And Foreign Anti-Slavery Society Minute Book, 1848-59

d : Amistad [Schooner] Case, 1839-1842. Collection, 1839-1973 and n.d. 6 reels of microfilm and 10 other items.

このコレクションはアミスタッド事件に関する資料の複写で，構成はイエール大学所蔵のボルドウィン家文書のマイクロフィルム，ピーター夫妻 (William and Muriel Peters) がニューヨーク公立図書館のために，この事件の資料を収集したマイクロフィルム5リールである。後者のオリジナルはコロンビア大学，イースト・ハンプトン公立図書館，議会図書館，マサチューセッツ歴史協会，合衆国公文書館，ニューヨーク公立図書館に所蔵されている。同コレクションには書簡，政府文書，論文，報告，演説，日記，新聞切抜き，地図，書籍が含まれている。

e : Lewis Tappan, 1788-1873, Papers, 1845-1846. 23 items.

ルイス・タッパンはマサチューセッツ州ノーサンプトンに生まれた。彼は1826年から1837年まで，ニューヨークで，兄のアーサーと共同で実業に従事。アーサーが *New York Journal of Commerce* を設立すると，ルイスは1828年から1831年まで同紙の発行人を引受けた。1841年から1849年まで，彼の商会は合衆国で最初の商業信用代理商 Mercantile Agency を営む。彼は American Anti-Slavery Society (1833), Amistad Committee (1839), American

and Foreign Anti-Slavery Society (1840), American Missionary Association (1846) の設立に関与し, 長い間, 指導者とくに財政支援者として貢献した。

その他, 同リサーチセンターのスタッフの作成した, 「アミスタッド事件」文献目録があることを付言して稿を閉じる。

作成: 98/12/11